

# 宗岡中だより



5月号 平成31年4月26日(金)  
志木市上宗岡1-8-1 TEL 048-471-2241

## 「新河岸の <sup>かわも</sup>川面に映る うす緑」

校長 佐藤哲浩

長く花を咲かせていた桜に代わり、新緑が目まぶしい季節となりました。うす緑や明るい黄緑、濃く深い緑まで、この時節になると自然界の多彩な緑を見ることができます。そして時が経つにつれ、色の違いは調和されて目立たなくなり、色とりどりの花が次々に開花する季節になっていきます。新学期が始まって3週間が過ぎましたが、中学校生活には保護者も生徒も慣れてきたでしょうか。進学・進級に関わり新しい経験も多く、気疲れもするでしょうが、基本的な生活習慣を大切にしたいと思えます。



ところで、過日朝日新聞を読んでいると、中高年の引きこもりが61万人という記事に驚き、思わず目が留まりました。我々は仕事上、生徒の不登校の実態を掴んでいますが中高年の引きこもりの実態までは理解していません。内閣府はこれまで2回、15歳～39歳までの引きこもり調査を実施してきました。引きこもりの長期化傾向が明らかになり、40代以上を除いた調査では全体像が分からないという指摘が当事者団体から出ており、それを踏まえて初めて中高年の調査に踏み切りました。今回の結果は無作為抽出した40～64歳5千人を対象に実施、引きこもっていた人の年齢層は40代が38.3%、50代が36.2%、60代が25.5%、性別では男性が76.6%、女性が23.4%で男性が多い傾向にあります。引きこもり状態にある人の比率は全体の1.45%であることから全体状況を推計しています。また引きこもりの状態になった理由は「人間関係」、「病気」などに加えて最も多かったのが「退職」です。以前の調査から15歳～39歳までの引きこもりは54万人というデータが出ているので、若年と中高年を合わせた引きこもりの人数は約100万人以上になります。私たちは、「8050問題」(ハチマルゴーマル)を大きな社会問題として考えていく必要があると考えています。

今から10年前くらいに中央教育審議会から「キャリア教育、職業教育の在り方」の答申が出され、学校で進路指導・キャリア教育を推進するように県教委から指導がありました。当時の社会背景には埼玉県は高校中途退学者率が全国ワースト3だったことやニートの割合が多かったことがあるからです。キャリア教育とは目先の高校進学だけでなく、その後の人生を人間としてどのように生きていくのかということと共に考え、導いていくことが大切であることを改めて痛感した次第です。

中高年のひきこもり(61万人超)  
なぜ?男性が4分の3

広義の「ひきこもり」(6か月以上継続)

- ▲趣味の用事の時だけ外出
- ▲近所のコンビニなどには出かける
- ▲自室からは出るが家から出ない
- ▲自室からほとんど出ない

「8050問題」: 80代の親が先々亡くなったとき、50代の引きこもりの子はその後どのように自立していくのかという問題